

## 職員専門研修のご報告

就労継続支援事業 B 型咲くら工房 櫻井詩子

第4回の職員専門研修はコミュニケーション力についてでした。「コミュ力」と一般的にも耳なじみのある言葉ですが、改めてそれはどのような力かを考えることができる研修でした。話す力にだけ意識が行きがちになりますが、実際は「聴くこと」「受け入れること」の方が重要であると講師は指摘しました。自分を振り返ってみると、相手に伝わっているか不安のあまり早口で言葉を重ねてしまうなど、「自分が話すこと」について固執してしまう場面があることに思い当たりました。お互いが話している間にそれぞれ自分の感情に形がついていく、そのような時間を大切にしたいと思います。

事業所には言葉を発せないメンバーさんや、話す言葉と本当の気持ちに齟齬があるのではないかと感じるメンバーさんがおられます。双方向のコミュニケーションが取れたと実感しづらい時は、箇条書きにしての発言の整理やイラストを描いて意思の疎通を図ることもあります。しかし一番大切なのは、こちらが相手の気持ちを想像しながら信頼関係を築くことだと思いました。これからも様々なツールを用いてメンバーさんとの関係づくりに励みたいと思いました。

信頼関係については職員集団においても大切だと改めて感じました。支援はチームワークであり、職員それぞれが役割を担っている中でコミュニケーションが取れていなければ良い支援はできないと思いました。良い関係が出来ている人とはやりとりが増え、関係が悪くなると話もしなくなることは仕事外でもよくあると思います。「風通しの良い職場」という言葉はよく聞きますが、受け止められている実感を持ってもらえる環境を作るのは容易ではないと思いました。これからもメンバーさんとの関係づくり、職員集団の環境づくりを考え続けていきたいと思っています。

